

国立病院機構 釜石病院

チームD 美女とおやじ





3.45 VIA X value (発) ➡ 10:30 花巻空港I.C. ➡ 11:15 遠野I.C. ➡
11:20 遠野風の丘(着) ➡ 11:50 同 (発) ➡ 12:40 保健所(着)



釜石保健所到着



到着報告

情報収集



本部からの指示は国立病院機構釜石病院への派遣

国立病院機構 釜石病院到着

施設の情報収集

16床の受け入れは可能
慢性期病院, 重症の対応は。。。

- ・建物への被害は限定的
- ・食料・医薬品は2日程度の備蓄
- ・電気: 自家発電により2日
- ・水道: 可
- ・トイレ: 可
- ・医療ガス: 可

病院支援。。。スタッフが疲弊



熊もでる

通信の確保に苦勞



南の窓側までは本部から。。。 →



情報の伝達の難しさ



できたこと

- ①役割分担によって任務がスムーズにおこなえた。
- ②クロノロで解決・未解決がわかるように記載できた。
- ③みんなで情報を確認しあうことができた。
- ④リーダーに毎回報告することができた。
- ⑤車の鍵の置場，物品の整理ができた。
- ⑥臨機応変に行動することができた。



できなかったこと⇒改善点

①得た情報に対して伝言ゲームになってしまった。

➤大事な情報は複数の人を介さない。受けた情報はなるべく最後まで責任をもつ

②短期的な視野で必要・不必要を判断した。

ex. JSTATの設置の話があったが通信が確保できたため断った

➤短期的・長期的な面で判断する。

③過不足なく情報を収集・提供できなかった。

ex. 重油がほしい⇒どのくらい？

患者情報

➤事前に聴取する内容を検討しておく

疑問点

①どこまで救護班が施設に介入してよいか？

ex.搬送手段や支援の方法

軽症患者を自宅に帰して受け入れを可能にするなど

②天候や自然災害のリスクをどこまで考慮して行動すべきか？

ex.撤収を視野に入れて最低限の資材を運び込むか、

車両の浸水等による資器材の損害を考えすべて運び込むか

コントローラーの方々,
各施設の方々
院長先生や病院の方々

ありがとうございました